

八重山 教育情報

第1号

発行：沖縄県教職員組合
八重山支部
石垣市登野城7-2
官公労共済会館2階
TEL: (0980) 82-3264
E-mail: otu-y@cosmos.ne.jp

二〇一二気持ちを新たに

沖教組八重山支部 執行委員長 上原邦夫

二〇一二年度がスタートしました。沖教組八重山支部組合員のみなさん新年度の準備に忙しかった毎日だと思いますが、無事にスタートは切れましたか。また、他地区から八重山地区へ転勤されてきた先生方、ようこそ八重山へ！八重山は自然が豊かで楽しいことがいっぱいあります。どうぞ二・三年または五年の八重山生活を楽しんでください。（永住もおすすすめです）そして八重山支部に力を貸してください。

私たち八重山支部は「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の精神で活動しています。基本の活動は各学校現場の分会です。まず、分会体制を確立し私たちの労働環境・勤務状態について話し合いワークライフバランスのとれた健康的な職場づくりをめざしていきましょう。学校の多忙化が言われていますが、多忙化の原因を取り除くのは組合一人一人の意見です。課せられる仕事を鵜呑みにせず、本当に必要なものは何か考え分会で話し合ってください。また、何かあればいつでも支部へ相談をください。

あなたの小さな力がみんなの力となり、組合の活性化につながります。そのためにも各分会で未加入者へ声をかけ、最低一人の組合加入をすすめていきましょう。今年度の支部行事やその他の企画へ多くの組合員の参加をお待ちしています。

新採者の激励・加入呼びかけ

4月2日(月)に八重山事務所1階のホールにて、31名の新規採用者のみなさんへ激励と加入呼びかけを行いました。

今回は、労金八重山支店、沖教済八重山支部と学校生協も加わり、4者で行いました。

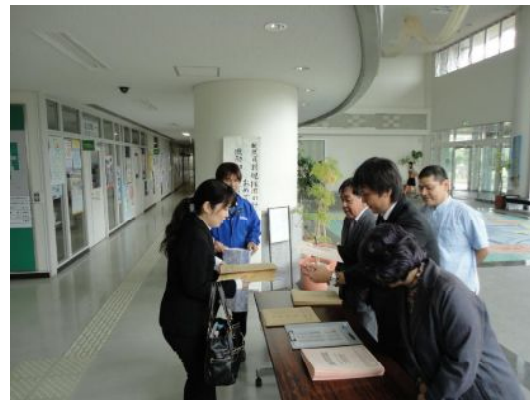
フレッシュなみなさんが全員組合に加入して頂けるように、各分会でも取り組みをよろしくお願ひします。



支部委員長が
自ら資料配付



今年は労金、沖共済、学校生協の
4者で取り組みました！



各分会での声かけも
是非お願いします。

専従復活！組合加入促進を

2年間専従不在という事態になっていましたが、今年は専従を復活させました。しかし、財政的に厳しいことには変わりありません。

非常事態であることを認識し、今年中に各分会1人以上の加入を是非お願いします。できれば各分会2人の加入が必要です。そのためにも必ず声かけを行ってください。声をかけてもらっていないという方が意外と多いです。隣の方を誘ってみてください。臨時採用のみなさんも組合に入れます。

各分会1人以上の組合加入をめざして行動をおこしましょう！

ソウル
魂において頑固
マインド
心において柔軟
スピリット
精神において活発

PAC3配備反対抗議声明

防衛大臣が、北朝鮮の「衛星」打ち上げ通告を受け、3月27日に自衛隊に準備命令を下し、沖縄本島、宮古島、そして石垣島に地对空誘導弾パトリオット(PAC3)の配備が現実のものとなりつつある。

私たちは、この一連の動きに対し大きな懸念を抱くものである。

まず、一点目に、北朝鮮の「人工衛星打ち上げ」が仮に「長距離弾道ミサイル」の発射であれば、近隣諸国に緊張をもたらし、北東アジアの平和に危機をもたらすと考えられるので、直ちに中止すべきである。私たちは、北朝鮮の国際社会を脅かす行為に強く抗議するものである。

また、PAC3を配備し、ミサイルの迎撃態勢をとることは、相手国に「戦争行為」とみなされる危険性もある。現に2009年4月に北朝鮮は、そのように当時の麻生内閣へ宣言した。

一方で、米軍は北朝鮮の軍事能力を現実的に無力と分析していることは、時期を重ねて石垣島に米軍掃海艇が2隻強行入港し、米兵・乗組員が休養をとるなど、緊急体制をとっていなかったことから明らかだ。

さらに、PAC3の配備がもたらす安全性の担保が、実に根拠に乏しい。PAC3などミサイル防衛システムの防衛性能には、多くの専門家が疑問を投げかけており、防衛省の喧伝行為とも見なされ、何ら住民の安全性を保証するものではない。ましてや、射程距離20kmと言われていることから、万が一、「衛星」を撃墜した場合、多くの離島がある八重山圏域では、逆に迎撃による住民へ落下物の被害が広がる可能性が一層高くなる。

私たちは、PAC3配備の目的は、必要以上に住民不安を煽り、防衛計画にある南西諸島への部隊配備への素地づくりに思えてならない。

日本国憲法の問題は、外交的手段により国際平和を築き、武力による解決は求めないと謳っている。今こそ、政府は国際社会と連携し、あらゆる外交手法を駆使し、北朝鮮に自制を促すことが重要だ。現実的に対応すべきは、発射させない外交努力であり、迎撃でない。日本政府は北朝鮮の挑発に乗るのではなく、あくまで平和的解決を追求すべきだ。よって、私たちは、石垣島を含む八重山、宮古圏域へのPAC3配備に強く反対する。

2012年3月27日
平和憲法を守る八重山連絡協議会



異様な光景
これでよいのでしょうか



四月五日(木)の朝、早くからヘリコプターが物々しく飛び交っていました。住民の不安をあまり、自衛隊のPAC3が新港地区に配備されてしまいました。
射程二〇kmであり、石垣島内に向いているミサイルが、本当に安全といえるのでしょうか。新港地区には異様な光景が広がっています。
また、その日の夕方には石垣空港に自衛隊の輸送機が姿を現しました。新空港ができたからこのような光景が日常化するのではないかと恐ろしささえ感じられました。
石垣には今四五〇人も自衛隊がいます。安全確保のためにといいますが、本当にこんなに人数がいるのでしょうか。ましてや住民を守ることができているのでしょうか。先の大戦を彷彿させるようなことが今現在現実起こっています。他人事ではなくてしっかりと考えてみてください。今目の前にいる子どもたちに残せる八重山の姿を考えましょう。

新港地区に自衛隊が！本当に必要？

連合主催春闘勝利集会！

4月7日(土)に春闘勝利に向けて、連合沖縄八重山地協主催で親睦を深めるために駅伝とグラウンドゴルフ大会が行われました。その後の春闘勝利集会ではアピールとスローガンが採択されました。

グラウンドゴルフ大会では沖教組八重山支部が団体準優勝、個人優勝を飾りました。

天候にも恵まれた1日でした。忙しい毎日とは思いますが、時には運動するゆとりをつくりましょう。支部でもスポーツ大会を企画します。

